

かかしでカワウを撃退！

浜坂高生 岸田川漁業被害減へ製作

岸田川漁協の組合員らと協力して、かかしを作る生徒＝28日、新温泉町芦屋の浜坂高



新温泉町の岸田川でアユなどを捕食する水鳥カワウの漁業被害を減らそうと、浜坂高（同町芦屋）の生徒が28日、同校でかかしを手作りした。完成した7体のかかしは、岸田川の戸田橋上流沿いと新市橋下流沿いの2カ所に設置する。

岸田川漁協や豊岡土地改

良センターなどが2019年から実施。かかしを設置する毎年10月中旬～11月末の期間、川に近づくカワウが減るなどの効果があるという。

この日は、同校ボランティアサークルの2年生9人が、同漁協の組合員らと協力してかかし作り。十字に

組んだ縦2尺、横1・6尺の竹にかぶせた服の隙間に、わらを詰め込んで人間の形に仕上げた。最後にカワウが嫌うオレンジの蛍光色の帽子をかぶせ、思い思いの顔を描いて完成させた。

同サークルの西村晴彦部長（16）は「カワウが驚くように迫力ある顔のかかしを作ったので、少しでも貢献できればうれしい」と笑顔で話していた。

（足立七海）